

令和4年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	竹原市立竹原中学校	校長	九十九 邦守	生徒指導主事	村上 務
取組事例名		『縦割りソーラン節』			
取組における育てたい資質・能力					
人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	3	「主体性」	2	「自己理解力 やりきる力」	1
取組のねらい					
3年生を中心に、縦割り団ごとに分かれた中で、自らソーラン節の演技体形などを考え、団全体を指導しながら演技を完成させていく。					
取組の具体的内容			取組の創意工夫 『キーワード：PDCA サイクル』		
<p>1 ソーランリーダーになった生徒たちに事前指導を行い、体形などを話し合う (夏休み中、ソーランリーダー)</p> <p>2 3年生のみでソーラン節の練習を繰り返す (授業、3年生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーが他の3年生にも厳しく指導 (下級生に教えるために技術力UP) <p>3 3年生が1年生、2年生のそれぞれに指導 (授業、全学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小グループに分かれ、それぞれ3年生がついて指導を行う (各グループで指導方法を考え踊りを向上させる) ・3年生がお手本を見せイメージを持たせる (目標設定を行い取組の完成をイメージさせる) <p>4 団ごとに集まって全学年で動きを合わす練習 (授業、全学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドで隊形の確認(本番を意識させる) ・全体をリーダーが確認し、パートごとにアドバイスを行う (踊りの技術向上とリーダーに責任感を持たせる) <p>5 予行練習で流れを通し、再度振り返りを行う (授業、全学年)</p> <p>6 運動会本番を行う (授業、全学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終了後、団全体やクラスなどに感謝を伝える (リーダーから言葉を通して、みんなのできたことを感じ取る) 			<p>『Plan (計画)』</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・事前にリーダーによる計画。この時点では大まかな部分を確認していく。 <p>また、3年生だけで踊り練習。</p> <p>『Do (実行)』</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・3年生がグループに分かれ、それぞれが1・2年生を指導していく。 <p>『Check (振り返り)』</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・練習ごとにリーダーから振り返りを伝え、改善方法を伝える。 <p>『Action (改善)』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本番で今までの反省を踏まえた演技にしていく。 		
取組の成果と課題					
<p>全学年でPDCAサイクルについて2学期が始まる時にとったアンケートでは、PDCAサイクルを回すことは自分を成長させるうえで大切だと思う。93.0% PDCAサイクルを回すことで自分は成長していると思う。87.7%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このアンケート結果でもあるように、PDCAサイクルを利用することが定着している生徒は多い。しかし、中身の質という部分ではまだ課題が多く、その点をどう指導していくかが課題となる。 					